

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 団体名    | 一般社団法人マニスファンクラブ   |
| 活動タイトル | ユネスコエコパークの環境保全活動  |
| 活動地域   | インドネシア共和国中央カリマンタン |



環境局と競技の様子



競技終了後の記念撮影

### 【団体概要】

人と環境と経済が調和した持続可能な循環型社会を実現するため、先進国と途上国で互いの課題を学び合い解決のための方法を創造すること、環境教育、環境保全、エコ観光のバランスのとれた社会づくりをおこなう人材を育成することを目的とする。

### 【活動の目的・目標】

当公園計画は、環境保全を行うために村民と公園整備を行う。2023年の事業は1,200本の苗の植樹。内、村の学校と共同し村内の休耕地30㎡に300本の苗木の植樹を通じた環境教育を行い「教育」と「保全」の両面に働きかける活動を行う。

「教育」「環境保全」「観光」を連携させ、村民が継続的に自然保護区の環境保全を行える仕組みづくりにする。

### 【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

パンデミックによる渡航制限が解除され、2年ぶりに現地に行って、ポイ捨てゴミの多いことに驚いた。教師陣とそのことについて話題を振ると彼女たちも同様の考えを持ち、そのような経緯で今回の環境教育のテーマが決まった。

### 【活動の内容・成果】

開催回数：1回

参加人数：5人

達成率：25%

今年度活動の環境教育の題材は「ゴミ問題」で行うことをカウンターパートナーや中学校教師と協議を行い決まりました。

環境教育活動を行っている教師より、ゴミ問題について調べたいという意向があり、環境局を訪ねることとなった。

現段階では、当該地域で一般ゴミや廃棄物を取り扱う環境局とMTGを行い。現状の調査と状況の把握を行った。

環境局職員は当団体の活動に協力できる合意を得た。

植樹作業は11月以降の雨期に行うため、上期には植樹活動は行っていません。

### 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日



活動とは直接的関係はないが、当団体が現地で活動するカウンターパートナーや村民有志が参加しているため記載します。

毎年5、6月から9、10月ぐらいまで雨が少なくなり、今年も雨量が少なく、8月に入り国立公園内の南側海岸地域で火災が起きた。



理由は、油ヤシ畑の労働が過酷なので、畑に火をつけたしたという情報が最初に入り、後日、火災消火に参加するとお金がもらえるという理由で火をつけたという情報が入り、その理由を疑ったが？真相はわからない。



当団体のカウンターパートナーのKAHIUのスタッフは現地で消火活動にあたり、代表は国立公園事務所と数回協議を行い、上収集と状況の把握、事務所職員との対策にあたった。